

早稲田アカデミー	5年							
	算数							
学習内容	1回 倍数と約数の利用 2回 いろいろな図形の面積 3回 割合の利用							
家庭学習ポイント	「倍数と約数の利用」「いろいろな図形の面積」「割合の利用」が範囲です。「倍数と約数の利用」では定義から他の単元への応用、「いろいろな図形の面積」では面積の公式をはじめとした公式の導入と活用、そして「割合の利用」では歩合やパーセントの利用と他単元への応用を学習します。重要な単元の約数、倍数と割合に焦点をあてる必要があります。約数・倍数は他塾と比較して1回で終わる（それぞれについて1回の授業を行う塾が多い）ため、理解不足におちいりやすいため、注意が必要です。用語の定義や求め方はもちろん、応用問題にどう利用されているのかという点をしっかり理解しておく必要があります。また割合は小5の算数の大きな関門の1つです。以降の算数の可否を分ける内容ですので、しっかり理解を深めておく必要があります。割合の関係と立式がおぼつかないお子さんの場合は、一度小4のテキストに立ち返り、しっかりと基礎の確立に励む必要があるでしょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	最小公倍数、最大公約数を正確に出すことができますか？						チェック
	解決策	3つの数の最小公倍数、最大公約数は特に注意ですね						☐
	チェック2	約数を抜け漏れなく数えだすことができますか？						チェック
	解決策	「ある数を約数で割った答えもその数の約数」であることを意識しましょう						☐
	チェック3	基本的な四角形や円の面積公式が正確に頭に入っていますか？						チェック
	解決策	公式の成り立ちも説明できるようにしておきたいですね						☐
	チェック4	面積の「移し替え」問題に対応できていますか？						チェック
	解決策	「定番」と呼ばれるものが多いですね。しっかり理解、使える状態にしておきましょう						☐
	チェック5	正方形に扇形が重なってできる「葉っぱ型」の面積を正しく計算できますか？						チェック
	解決策	くれぐれも「正方形の面積の0.57倍」など丸覚えしないよう注意です						☐
早稲田アカデミー	5年							
	国語							
学習内容	1回 物語・小説（1）／心情① 品詞分類表・名詞／和語① 2回 物語・小説（2）／心情② 動詞／慣用句① 3回 説明文・論説文（1）／話題 形容詞・形容動詞／三字の熟語							
家庭学習ポイント	説明文・論説文では単語・文・文節の働き、話題と要点の見つけ方、形式段落と意味段落のまとめ方を学習します。物語文では場面や心情の変化を図式的に読み取り、客観的に読む力を養います。また品詞の分類、三字熟語、慣用句、和語等の基礎知識を学びます。知識問題の学習をなかなか習慣化できないお子さんも少なくありませんが、特に漢字で得点しきれることが、まずは国語を得意科目にする第一歩です。コツコツと学習を続けましょう。また発展問題を中心に、予習シリーズの選択肢の中には正誤判定が非常に難しいものがあります。解答をしっかりと読んで、問題作成者の意図を考える訓練をする必要があります。心情表現においては、細かい気持ちの読み取りが求められる問題が増えてきます。素材文に出てくる「ゆううつ」「みじめな」「うしろめたい」といった言葉を正しいニュアンスで理解しているかどうか、ご自宅でも問いかけてあげると良いでしょう。漢字を学ぶときには、部首・筆順を合わせて覚えるようにしましょう。またそれだけでなく、実際にはどのように使われるのか、例文を理解しながら学習していきましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	物語文では、登場人物の行動のもととなっている気持ちに注目していますか？						チェック
	解決策	行動の裏には必ず心情があり、それはそのまま表現されることはないので、行動から読み取ります						☐
	チェック2	物語文では、場面の展開と登場人物の心情の変化の関係を意識していますか？						チェック
	解決策	心情の変化を場面の变化で表現するのも物語文の定番ですね						☐
	チェック3	論説文の要約がうまくできますか？						チェック
	解決策	筆者の考えが述べられた文から「中心文」をさがし、それらをつなげてみましょう						☐
	チェック4	語彙を増やす努力をコツコツ続けていますか？						チェック
	解決策	漢字はそのものだけでなく、筆順や使われ方（例文）と合わせて覚えましょう						☐
	チェック5	ふだんあまり使わない言葉を親御さんが投げかけていますか？						チェック
	解決策	素材文に出てきた難しい言葉について、このように使うという見本を投げかけてみましょう						☐

早稲田アカデミー	5年						
	理科						
学習内容	1回 季節と生物 2回 物の温度による変化 3回 物のあたたまり方						
家庭学習ポイント	第1回から第3回まで、「季節と生物」「物の温度による変化」「物のあたたまり方」を学習します。「季節と生物」では、冬から春にかけての植物、昆虫などの過ごし方を学びます。特にタンポポについては、カントウタンポポ（関西ではカンサイタンポポ）とセイヨウタンポポの見分け方、性質や特徴の違いなどは入試問題でも頻出かつ重要です。昆虫の冬越しについても「安全な姿と場所で冬越し」という視点で整理すると、「巣があるアリやハチは成虫の姿で冬越しできる」「トンボは幼虫（ヤゴ）の姿で水中で」と整理しやすくなりますね。3月に学習する「気象の観測」を理解するには、3回「物のあたたまり方」をしっかりと理解しておく必要があります。空気があたたまると体積が膨張し、同じ体積当たりの重さが軽くなることをしっかりと理解しておくことで「軽くなった空気が上昇する→そこへまわりから空気が流れ込む」ということがスムーズに理解できます。理科全般に言えることですが、4年生から5年生のカリキュラムの大きな差は、因果関係を重視した体系的な知識を養うことです。その日習ったことを、お子さん自身が自分で説明できるようになることが、効果的な学習の目安です。ご家庭でも問いかけを通じてお子さんに因果関係を説明してもらう環境を作ってみてください。						
課題の把握と解決策	チェック1	カントウタンポポとセイヨウタンポポの外見上の違いを説明できますか？					チェック
	解決策	総苞という頭花（小さな花の集まり）を束ねた部分のひだが反り返っているのがセイヨウタンポポ					☐
	チェック2	昆虫の冬越しを整理して覚えられていますか？					チェック
	解決策	キーワードは「安全な場所で安全な姿で」です					☐
	チェック3	水蒸気⇄水⇄氷 の変化の身の回りの例をあげることができますか？					チェック
	解決策	湯を沸かしたときの湯気、寒い日にはく息がくもることなど、さまざま考えてみましょう					☐
	チェック4	「気体＝色がなければ目に見えない」を意識できていますか？					チェック
	解決策	上記の湯気やはく息のくもりは目に見えていますから、水蒸気ではなく水の小さな粒ですね					☐
	チェック5	「伝導・対流・放射」の身の回りの例をあげることができますか？					チェック
	解決策	日常における「暑い・寒い・熱い・冷たい」についていろいろ考えてみましょう					☐
早稲田アカデミー	5年						
	社会						
学習内容	1回 魚はどこから？ 2回 暮らしに役立つ資源 3回 いろいろな工場						
家庭学習ポイント	第1回では日本の水産業について、それぞれの漁業の変化や近年の輸入の増加について学習します。第2回では地下資源と電力について発電所を中心に学習します。第3～6回では日本の工業について、それぞれの特色や問題点等を学習します。「日本の水産業」の分野は、戦後の大きな傾向を捉えたグラフでの出題は比較的容易に正解を導けますが、最近では直近のグラフが出題され、どのグラフがどの漁業を表しているのか分かりづらくなっているので注意が必要です。またそれぞれの漁業の長所・短所を正確に理解することが重要になります。その上で、「オイルショック・200海里排他的経済水域」などが、漁業にどのような影響を与えたのか、因果関係に注意しながら学習するようにしましょう。「暮らしに役立つ資源」の電力については、火力・水力・原子力などそれぞれの発電方法のメリットとデメリットを整理しておきましょう。「いろいろな工業」では、重化学工業、軽工業の特色、それぞれの工業地帯・工業地域の特色について正確な理解が必要です。						
課題の把握と解決策	チェック1	日本近海の海流と潮目について覚えていますか？					チェック
	解決策	どの魚が南に、北にいるのかも合わせて覚えましょう					☐
	チェック2	遠洋漁業の漁獲高が減った時期と理由をあわせて説明できますか？					チェック
	解決策	「石油危機」「排他的経済水域」という言葉を使って説明しましょう					☐
	チェック3	いろいろな発電方法のメリットとデメリットを説明できますか？					チェック
	解決策	CO2削減、放射線廃棄物など近年いろいろな面で話題ですね。親子で話し合ってもいいでしょう					☐
	チェック4	三大工業地帯の特徴を説明できますか？					チェック
	解決策	豊田市のある中京工業地帯など、その土地の特徴と結びつけて特徴を整理しましょう					☐
	チェック5	身近なものが「何工業」によって作られているか答えられますか？					チェック
	解決策	「自動車は？」「自転車は」といったクイズをお子さんに出示してみてもいいですね					☐